



ヒゲの校長

映画

Once upon a time in Osaka. for the Deaf with Sign Language 1914

2023年

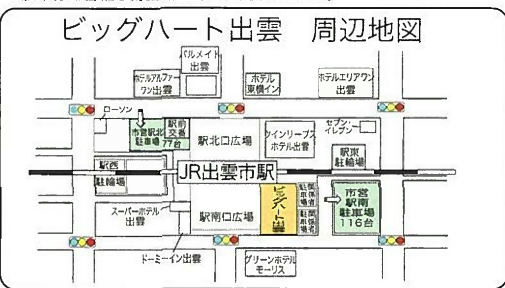
9月23日(祝土)

みなさんのお越しをお待ちしています。

ACCESS

交通手段・駐車場案内

- ・JR出雲市駅南口より徒歩1分
- ・ビッグハート専用駐車場20台、または市営駐車場をご利用ください。
- ・駅南・駅北の各市営駐車場について、ビッグハート利用者は、設定時間(利用時間+1時間)は無料となります。
- ・駐車券を各催し物会場受付へご提示ください。



上映スケジュール

★会場名 「ビッグハート出雲」 白のホール

★上映時間 第1部 10:00~12:00 (受付9:15)
 第2部 13:30~15:30 (受付12:45)

★入場料 <前売> 大人 1,500円 / 高校生以下 800円
 <当日> 大人 1,800円 / 高校生以下 1,000円

【お問い合わせ】 FAX: 0852-32-5922

E-mail: shimane-rohren.2010@navy.plala.or.jp

主催 島根県ろうあ連盟
 協力 全国手話通訳問題研究会島根県支部 島根県手話サークル連絡協議会
 後援 島根県 島根県教育委員会 出雲市 社会福祉法人島根県社会福祉協議会 社会福祉法人出雲市社会福祉協議会 島根県身体障害者団体連合会
 朝日新聞松江総局 毎日新聞松江支局 読売新聞松江支局 中国新聞社 山陰中央新報社 島根日日新聞社 NHK松江放送局 BSS山陰放送
 T S A さんいん中央テレビ 日本海テレビ 出雲ケーブルビジョン エフエム山陰 エフエムいずも

【映画について】

皆さんは、耳がきこえない人と話されたことはありますか。筆談、ジェスチャー、口元を見せてゆっくりはっきり話すなど、さまざまなコミュニケーション方法がありますが、その中で手話をメインにして話す人たち「ろう者」がいます。ろう者にとって手話はかけがえのない言葉です。

ろう・難聴の子どもたちが通うろう学校・聴覚支援学校では、手話が使われてきたのだろう…そう、多くの方が思うでしょう。ところが、大正の終わり頃から最近までろう学校では手話は禁止・制限されていました。「口話法」と言って発声し、相手の口の動きを読みとる方法が急速に広がり、口話法を進めるには手話は不要なものとしてしまったからです。きこえない子どもが訓練によって話せるようになる…、なんと素晴らしいことだろうと、ろう者のことを知らない人は思うかも知れません。

しかし、口話法を身につけさせるために、かつての口話訓練は、つい手話で話してしまう子どもは叩かれ、両手を縛られもした苛酷なものでした。おおっぴらに手話ができないろう者たちはずっと苦しみました。

そこに疑問をもち、個々の子どもに合わせて手話と口話を取り入れる教育を進めた学校がありました。この映画の舞台となる大阪市立聾唖学校です。

映画『ヒゲの校長』は、校長 高橋 潔を中心に教師たちがスクラムを組んで、手話を守り続けた実話がもとになっています。愛情と信念をもって子どもらに接した高橋と「チーム高橋」の教員たち、高橋に献身的に寄り添った家族…戦争にあけくれた困難な時代に、ろう者と共に生きた人々の物語です。

どうぞ、ご家族、お友だちとご一緒にお越しく下さい。



【昭和8年 大阪市立聾唖学校】
～高橋校長と聞こえない先生たち～



【あらすじ】

大正3年仙台から大阪へ、青年高橋潔は、恩師の紹介状を持って大阪市立聾学校聾唖学校の門を叩いた。家の事情にて海外留学し音楽家を旨とする夢をあきらめ失意にあった高橋。

そんな彼の前に現れたのは、家から追い出され、警官に連れられて来た正一君。耳がきこえず、会話できないもどかしさで暴れる正一君に、高橋は寄り添い、手話を覚え、彼と共に歩みだす…。手話やろう者のことを高橋先生に教えるきこえない先生たち…。

しかし、時代は大きく変わる。「口話法」という嵐が全国の聾学校に吹きまくり、口の動きを読み取り、発語できるようにするためには手話は禁止するべきと、ほとんどの学校が手話を抑えていった。

ろう者の言葉である手話がつぶされそうになっていく中、手話とろう者を守るべく、高橋校長と先生たちは一丸となって時代にあらがおうと立ち上がった…。